

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年2月13日
【四半期会計期間】	第7期第3四半期（自平成23年10月1日至平成23年12月31日）
【会社名】	株式会社グリムス
【英訳名】	gremz, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 田中 政臣 東京都品川区東品川二丁目2番4号
【本店の所在の場所】	（平成24年1月23日付で東京都品川区東五反田五丁目23番7号から上記に移転しております。）
【電話番号】	（03）5769-3500
【事務連絡者氏名】	専務取締役 小野 裕章 東京都品川区東品川二丁目2番4号
【最寄りの連絡場所】	（平成24年1月23日付で東京都品川区東五反田五丁目23番7号から上記に移転しております。）
【電話番号】	（03）5769-3500
【事務連絡者氏名】	専務取締役 小野 裕章
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第7期 第3四半期連結 累計期間
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 12月31日
売上高(千円)	3,159,413
経常利益(千円)	217,828
四半期純利益(千円)	75,183
四半期包括利益(千円)	70,183
純資産額(千円)	1,256,228
総資産額(千円)	2,407,582
1株当たり四半期純利益金額 (円)	44.45
潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益金額(円)	43.01
自己資本比率(%)	52.2
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	194,469
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	269,729
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	559,661
現金及び現金同等物の四半期末 残高(千円)	1,242,447

回次	第7期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 10月1日 至平成23年 12月31日
1株当たり四半期純損失金額 ()(円)	12.55

- (注) 1. 前事業年度まで連結財務諸表を作成していないため、第6期第3四半期連結累計期間、第6期第3四半期連結会計期間及び前連結会計年度については記載しておりません。
2. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
3. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社は、平成23年4月1日付で新設分割の方式の会社分割を実施し、持株会社制へ移行いたしました。当社の営むグリーンハウスプロジェクト事業及びエコロジーソリューション事業を「株式会社グリムスソーラー」に、エネルギーコストソリューション事業を「株式会社GRコンサルティング」に、それぞれ承継いたしました。それに伴い、エコロジーソリューション事業をグリーンハウスプロジェクト事業へ統合しております。

また、平成23年6月1日付で「株式会社グリムスプレミアムウォーター」を新たに設立し、平成23年7月1日よりウォーターサーバー事業を開始しております。

これに伴い、当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、当社及び子会社3社となりました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災を背景とした景気後退から緩やかに持ち直しつつあるものの、欧州債務危機による世界経済の減速懸念や継続する円高などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

このような経済状況の中、当社グループは、平成23年4月に会社分割を行い持株会社制へ移行し、各事業会社への権限委譲による機動的な組織運営を行い、業績拡大及び安定収益基盤確立への布石としております。また、平成23年6月に株式会社グリムスプレミアムウォーターを設立し、平成23年7月よりウォーターサーバー事業を開始しております。当社グループは、「すべての人に感動と喜びを」を企業理念とし、また「豊かで安心して暮らせる社会の構築」という中期経営計画のビジョンのもと、各事業を積極的に推進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,159百万円、営業利益は214百万円、経常利益は217百万円、四半期純利益は75百万円となりました。

各セグメントの業績は、以下のとおりであります。

〔グリーンハウスプロジェクト事業〕

株式会社グリムスソーラーは、住宅用太陽光発電システムの店舗販売を行うグリーンハウスプロジェクト事業を行っております。グリーンハウスプロジェクト事業につきましては、当第3四半期累計期間における、「京セラソーラーFC 富津」「京セラソーラーFC ちはら台」「京セラソーラーFC 伊勢崎」の出店により、運営店舗を9店舗とし、また短期出店店舗や催事販売を活用するなど積極的な営業展開を図り、売上高は1,482百万円、営業利益は55百万円となりました。

〔ウォーターサーバー事業〕

株式会社グリムスプレミアムウォーターは、ミネラルウォーターの宅配を行うウォーターサーバー事業を行っております。ウォーターサーバー事業につきましては、7月からの事業開始後、店舗販売や催事販売により営業を展開した結果、売上高は47百万円、営業損失は80百万円となりました。

〔エネルギーコストソリューション事業〕

株式会社GRコンサルティングは、電力基本料金削減コンサルティングを行うエネルギーコストソリューション事業を行っております。エネルギーコストソリューション事業につきましては、東日本大震災の影響により滞っていた営業活動が回復しており、電力料金の削減に対する旺盛な需要のもと、業績は順調に推移いたしました。その結果、売上高は1,629百万円、営業利益は546百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期比については記載しておりません。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、1,242百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は194百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上217百万円、減価償却費の計上37百万円、仕入債務の増加70百万円、未払消費税等の増加42百万円による資金の増加、及び未収消費税等の増加57百万円、法人税等の支払160百万円による資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は269百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出143百万円、無形固定資産の取得による支出89百万円、敷金及び保証金の差入による支出36百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果得られた資金は559百万円となりました。これは、主に、短期借入れによる収入990百万円、長期借入れによる収入500百万円による資金の増加、及び短期借入金の返済による支出870百万円、長期借入金の返済による支出16百万円、配当金の支払額50百万円による資金の減少によるものであります。

当第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期比については記載しておりません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通しに重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,000,000
計	4,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年2月13日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引 業協会名	内容
普通株式	1,742,700	1,742,700	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株 権利内容に何ら限定 のない当社における 標準の株式
計	1,742,700	1,742,700	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成24年2月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年10月1日～ 平成23年12月31日 (注)	400	1,742,700	60	387,065		126,293

(注) 新株予約権の行使による増加であります。

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 50,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,692,100	16,921	単元株式数 100株 権利内容に何ら限定のない当社における標準の株式
単元未満株式	普通株式 200		
発行済株式総数	1,742,300		
総株主の議決権		16,921	

【自己株式等】

平成23年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社グリムス	東京都品川区東五反田五丁目23番7号	50,000		50,000	2.87
計		50,000		50,000	2.87

(注) 1. 平成24年1月23日付で、東京都品川区東品川二丁目2番4号に本社を移転しております。

2. 当第3四半期会計期間末日現在の自己名義所有株式数は50,012株、その発行済株式総数に対する所有割合は2.87%であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下、「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

また、当第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）は、連結財務諸表作成初年度であるため、前連結会計年度末に係る連結貸借対照表、前第3四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書との対比は行っておりません。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成23年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,242,447
売掛金	329,672
商品	39,925
前払費用	40,801
未収消費税等	57,128
未収還付法人税等	75,315
繰延税金資産	36,542
その他	6,203
流動資産合計	1,828,037
固定資産	
有形固定資産	
建物（純額）	78,615
車両運搬具（純額）	2,494
工具、器具及び備品（純額）	109,425
建設仮勘定	24,800
有形固定資産合計	215,335
無形固定資産	
のれん	72,766
ソフトウェア	100,789
無形固定資産合計	173,556
投資その他の資産	
敷金及び保証金	183,318
その他	7,334
投資その他の資産合計	190,653
固定資産合計	579,545
資産合計	2,407,582
負債の部	
流動負債	
買掛金	220,600
短期借入金	120,000
1年内返済予定の長期借入金	144,080
未払金	169,403
未払費用	5,084
未払法人税等	88,766
未払消費税等	44,329
預り金	1,665
その他	10,103
流動負債合計	804,033

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成23年12月31日)

固定負債	
長期借入金	339,320
資産除去債務	7,896
その他	103
固定負債合計	347,319
負債合計	1,151,353
純資産の部	
株主資本	
資本金	387,065
資本剰余金	126,293
利益剰余金	790,032
自己株式	47,161
株主資本合計	1,256,228
少数株主持分	-
純資産合計	1,256,228
負債純資産合計	2,407,582

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	3,159,413
売上原価	1,410,545
売上総利益	1,748,867
販売費及び一般管理費	1,534,173
営業利益	214,694
営業外収益	
受取利息	520
受取手数料	1,490
解約手数料	824
広告収入	600
助成金収入	1,466
その他	228
営業外収益合計	5,130
営業外費用	
支払利息	1,996
営業外費用合計	1,996
経常利益	217,828
税金等調整前四半期純利益	217,828
法人税、住民税及び事業税	94,752
法人税等調整額	52,892
法人税等合計	147,645
少数株主損益調整前四半期純利益	70,183
少数株主損失 ()	5,000
四半期純利益	75,183

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	70,183
四半期包括利益	70,183
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	75,183
少数株主に係る四半期包括利益	5,000

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成23年4月1日
至平成23年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	217,828
減価償却費	37,865
長期前払費用償却額	498
のれん償却額	1,233
受取利息	520
支払利息	1,996
売上債権の増減額(は増加)	12,739
たな卸資産の増減額(は増加)	26,789
その他の流動資産の増減額(は増加)	6,055
営業保証金の増減額(は増加)	20,000
仕入債務の増減額(は減少)	70,736
未払金の増減額(は減少)	21,869
未収消費税等の増減額(は増加)	57,128
未払消費税等の増減額(は減少)	42,236
その他の流動負債の増減額(は減少)	9,148
その他	2,518
小計	357,980
利息の受取額	209
利息の支払額	2,985
法人税等の支払額	160,734
営業活動によるキャッシュ・フロー	194,469
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	143,410
無形固定資産の取得による支出	89,462
敷金及び保証金の差入による支出	36,336
敷金及び保証金の回収による収入	2,209
貸付金の回収による収入	1,086
その他	3,816
投資活動によるキャッシュ・フロー	269,729
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	990,000
短期借入金の返済による支出	870,000
長期借入れによる収入	500,000
長期借入金の返済による支出	16,600
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,620
自己株式の取得による支出	12
配当金の支払額	50,345
連結子会社設立に伴う少数株主からの払込による収入	5,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	559,661
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	484,402
現金及び現金同等物の期首残高	758,045
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,242,447

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第3四半期連結累計期間
(自平成23年4月1日
至平成23年12月31日)

連結の範囲の重要な変更

当第3四半期連結累計期間において、平成23年4月1日付で持株会社制へ移行いたしました。新設分割の方式の会社分割を実施し、株式会社グリムソーラー、株式会社GRコンサルティングの2社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。また、平成23年6月1日付でプレミアムウォーター株式会社との合併会社である株式会社グリムスプレミアムウォーターを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成に当たり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間
(自平成23年4月1日
至平成23年12月31日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は以下のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	
役員報酬、給与賃金及び諸手当	809,790千円
法定福利費	99,948千円
旅費交通費	89,671千円
通信費	47,986千円
地代家賃	124,294千円
求人費	69,864千円
減価償却費	34,830千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	
現金及び預金勘定	1,242,447千円
現金及び現金同等物	1,242,447千円

(株主資本等関係)

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	50,535	30	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	グリーンハウスプロジェクト事業	ウォーターサーバー事業	エネルギーコストソリューション事業	
売上高				
外部顧客への売上高	1,482,098	47,917	1,629,396	3,159,413
セグメント間の内部売上高又は振替高				
計	1,482,098	47,917	1,629,396	3,159,413
セグメント利益又は損失()	55,942	80,593	546,372	521,721

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	521,721
全社費用(注)	307,027
四半期連結損益計算書の営業利益	214,694

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更に関する事項

第2四半期連結会計期間から、当第1四半期連結累計期間において「その他」に含まれていたウォーターサーバー事業について金額的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

当該変更に伴う四半期連結累計期間に係る報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報に与える影響は以下のとおりです。

変更前の方法によった場合と比べ、報告セグメント計の外部顧客への売上高が47,917千円増加し、セグメント利益が80,593千円減少しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

ウォーターサーバー事業において、プレミアムウォーター株式会社と事業譲渡契約を締結いたしました。なお、当該契約により、当第3四半期連結累計期間において、のれんが72,766千円発生しております。

(金融商品関係)

前事業年度の末日に比べて著しい変動がないため記載を省略しております。

(有価証券関係)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	44円45銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益金額(千円)	75,183
普通株主に帰属しない金額(千円)	
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	75,183
普通株式の期中平均株式数(株)	1,691,419
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	43円1銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益調整額(千円)	
普通株式増加数(株)	56,791
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 2月10日

株式会社 グリムス
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	都甲 孝一
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	若尾 慎一
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	木下 洋

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社グリムスの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社グリムス及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
- 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。